



子どもには必要タレント
読書感想文コンクール入賞作品

学校図書館

学校図書館や子どもの読書に関する専門誌
タイムリーな教育的課題から日々の学校図書館業務まで
特集記事と多彩な連載。各地の研究・実践例も多数紹介

毎月1日発行 定価 770円(本体 700円)(税 10%)

選書ツールとして必携の情報紙

学校図書館 速報版

学校図書館・出版関連ニュース、研修会情報をいち早くお届け
全国SLA選定図書リスト掲載。図書紹介や作家インタビューも

毎月1・15日発行 定価 330円(本体 300円)(税 10%)

公益社団法人 全国学校図書館協議会 〒113-0034 東京都文京区湯島3-17-1 湯島大同ビル
TEL 03-6284-3722(代) FAX 03-6284-3725 <https://www.jsla.or.jp>

第70回 青少年読書感想文 全国コンクール入賞作品集



考える読書

全国学校図書館協議会 編

内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞はじめ、
各学年のコンクールを勝ち抜いた入賞作品を
すべて収録。巻末に、入選者氏名一覧も掲載。

A5判・上製 予価2640円(税込)
978-4-620-52093-3

毎日新聞出版 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階
お問い合わせは(営業本部) TEL03-6265-6941 FAX03-6265-6984へどうぞ

記入前にご確認ください

1. この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
2. わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をとおしてください。審査会では対象図書を参照します。
3. 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
4. 記入もれや、誤った情報は審査ができません。場合によっては、正確に記入してください。
5. 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。ご了承ください。

読むこと、書くこと、自分を知ること。
第71回 青少年読書感想文 全国コンクール



※提出は在籍校へお願いします

感想文の題名		応募区分		課題図書 自由読書 (○で囲んでください)	
所	(ふりがな) 学校名	都道 府県	部	市区 町村	学校
属	学校所在地 ・担当者名 (電話番号は市外局番 から記入してください) (E-mail)	(〒	(	(	(
部・学年	小低・小中・小高・中学・高校	立	立	立	立
応募者	(ふりがな) 氏名	(	(	(	(
対象図書(読んだ本)	書名 ※サブタイトルも必ずご記入ください	発行所	発行年	初版発行年	年
著者・编者・訳者・画家	シリーズ名・文庫名	発行所	発行年	初版発行年	年
発行所・発行年	定価・大きさ・ページ数	発行所	発行年	初版発行年	年
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)	有・無	発行所	発行年	初版発行年	年
応募作品と応募票に記入した情報を公表することがあります。 すべてご同意いただいたうえで、チェック ☒ を入れてください。	有・無	発行所	発行年	初版発行年	年



読むこと、書くこと、自分を知ること。 第71回 青少年読書感想文 全国コンクール

主催/公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社
後援/文部科学省・こども家庭庁 協賛/サントリーホールディングス株式会社

応募要項

自分の心が動く一冊は、
どれだろう。



青少年読書感想文全国コンクール イメージキャラクター「おほんちゃん」

◆主催：公益社団法人全国学校図書館協議会・毎日新聞社

◆後援：文部科学省・こども家庭庁

◆協賛：サントリーホールディングス株式会社

◆趣旨

○子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。

○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

◆対象図書

◎課題読書

主催者の指定した図書（課題図書）。別掲のとおりです。同一部内における学年指定はありません。

◎自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

*教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

*点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、音訳・点訳したものの情報を添えてご応募ください。

◆応募資格および区分

応募者の年齢は満20歳まで（2005年4月2日以降に出生の者）とします。応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

①小学校低学年の部（1、2年生）	課題読書	自由読書
②小学校中学年の部（3、4年生）	課題読書	自由読書
③小学校高学年の部（5、6年生）	課題読書	自由読書
④中学校の部	課題読書	自由読書
⑤高等学校の部	課題読書	自由読書

*特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。

◆用紙・字数

①原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

②文字数については下記のとおりです。

小学校低学年の部（1、2年生）	本文 800字以内
小学校中学年の部（3、4年生）	本文1,200字以内
小学校高学年の部（5、6年生）	本文1,200字以内
中学校の部	本文2,000字以内
高等学校の部	本文2,000字以内

③句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

④題名、学校名、氏名は字数に数えません。

◆応募作品

①日本語で書かれた作品に限ります。

②課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

③個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。

④盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

⑤入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

◆作品提出

①本コンクールは学校を通じてご応募いただくコンクールです。在籍校が本コンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクールに参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。

②作品は自筆のものを提出してください（コピー不可。デジタル機器使用不可。ただし、自筆が不可能でデジタル機器を使用する、または代筆となるなどの場合は理由を添えてご応募ください）。

③別掲の応募票（コピー可）に必要事項をご記入ください。この応募票を基に審査が行われます。記入もれや、誤った情報をご記入いただきますと、審査ができない場合がありますので、正確にご記入ください。

④ご記入いただいた応募票は、作品の一番上に貼付して、右肩をとじてください。

◆応募締め切り

締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクールWebサイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。

◆作品と氏名等の使用・公表 ※ご了承のうえ、ご応募ください。

①応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。

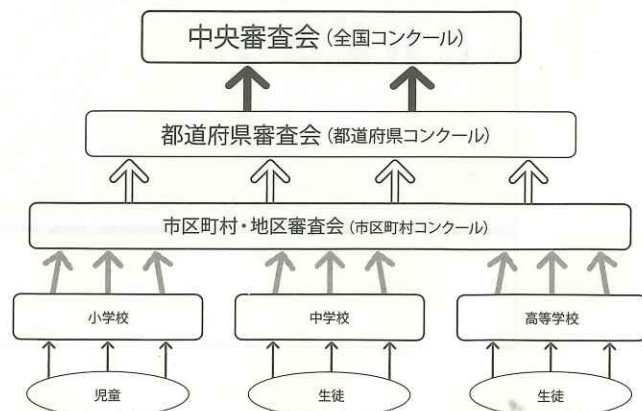
②入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物やWebサイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各种媒体で使用・公表することがあります。

③上記公表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがあります。

◆審査

①応募作品の審査は、都道府県審査を経て、中央審査会へと段階的に行われます。

〔段階的審査の例〕



②都道府県審査会において各部ごとに優秀作品を選び、各部課題読書1編、自由読書1編を中央審査会に送付します。

③中央審査会は東京において、小・中・高等学校関係者および学識経験者（甲斐雄一郎・文教大学教授、川北亮司・児童文学作家ほか、以上予定）などで構成する委員会で行います。

④海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設からの作品は、全国学校図書館協議会で受け付けます（現地校のみの在籍者の応募は受け付けません）。この締め切りは2025年9月30日（火）まで（全国学校図書館協議会必着）とします。

◆入賞発表

在籍校を通じ、本人あてに通知します。同時に、2026年2月『毎日新聞』、『毎日小学生新聞』、『学校図書館』および『学校図書館速報版』紙上で発表します。

◆表彰

本人には個人賞を、在籍校には学校賞を贈呈します。

《個人賞》

◎内閣総理大臣賞（最優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状およびブロンズ像。

◎文部科学大臣賞（優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状および盾。

◎毎日新聞社賞（優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部5編。賞状および盾。

◎全国学校図書館協議会長賞（優良作品）

課題読書、自由読書を通じて各部6編。賞状および盾。

◎サントリー奨励賞（奨励作品）

課題読書、自由読書を通じて各部10編以内。賞状および盾。

◎入選賞（入選作品）

上記の最優秀、優秀、優良、奨励作品を除く都道府県代表として認められた作品。賞状およびオリジナル図書カード。

《学校賞》

内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞を受賞した児童生徒の在籍校へ、賞状、盾およびサントリー学校賞。

◆入賞・入選作品の著作権・公表

①入賞・入選作品の著作権は、選出と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。

②最優秀作品、優秀作品、優良作品、奨励作品は入賞作品集『考える読書』（毎日新聞出版刊行）に掲載されます。

◆表彰式

2026年2月上旬、最優秀・優秀・優良作品の入賞者本人と在籍校の学校代表および奨励作品・入選作品の代表者を招待して、東京で表彰式を行います。

*国外在住の入賞者については旅費の一部を負担します。

*内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞の受賞者が希望した場合、受賞証明書を発行します（送料実費）。詳細は入賞発表通知であらためてお知らせします。

応募締め切り

月 日（ ）

*都道府県によっては、本応募要項の他に規定を設けている場合があります（原稿用紙の使い方、提出方法など）。詳細は在籍校にご確認ください。

*締め切りは都道府県によって異なります。締め切り日についても在籍校にお問い合わせください。

作品提出先

*児童生徒は在籍校に提出してください。

課題図書（同一部内での学年指定はありません）

◇小学校低学年の部（1、2年生）

ライオンのくいのネズミ

中央公論新社 1,760円

さかとく み雪 作

ぼくのねこポー

PHP研究所 1,430円

岩瀬成子 作
松成真理子 絵

ともだち

ひさかたチャイルド 1,760円

リンダ・サラ 作
ベンジー・デイヴィス 絵
しらいすみこ 訳

ワレワレはアマガエル

アリス館 1,870円

松橋利光 文・写真

◇小学校中学年の部（3、4年生）

ふみきりペンギン

あかね書房 1,430円

おくはらゆめ 作・絵

バラクラバ・ボーイ

文研出版 1,540円

ジェニー・ロブソン 作
もりうちすみこ 訳
黒須高嶺 絵

たった2℃で…：地球の気温上昇がもたらす環境災害

童心社 1,980円

キム・ファン 文
チョン・ジンギョン 絵

ねえねえ、なにを見てる？

河出書房新社 1,793円

ビクター・ベルモント 絵と文
金原瑞人 訳

◇小学校高学年の部（5、6年生）

ぼくの色、見つけた！

講談社 1,650円

志津栄子 作
末山りん 絵

森に帰らなかったカラス

徳間書店 1,760円

ジーン・ウィリス 作
山崎美紀 訳

マナティーがいた夏

ほるぷ出版 1,760円

エヴァン・グリフィス 作
多賀谷正子 訳

とびたて！みんなのドラゴン

：難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険

岩崎書店 1,650円

オザワ部長 著

◇中学校の部

わたしは食べるのが下手

小峰書店 1,760円

天川栄人 作

スラムに水は流れない

あすなろ書房 1,760円

ヴァルジャ・バジャージ 著
村上利佳 訳

鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者

くもん出版 1,540円

竹内紘子 著

◇高等学校の部

銀河の図書室

実業之日本社 1,870円

名取佐和子 著

夜の日記

作品社 2,420円

ヴィーラ・ヒラナンダニ 著
山田 文 訳
金原瑞人 選

「コード」のぼくが見る世界

：聴こえない親のもとに生まれて

紀伊国屋書店 1,760円

五十嵐 大 著

※すべて税込み価格

問い合わせ先 ※作品送付先ではありません

公益社団法人 全国学校図書館協議会

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目17-1 湯島大同ビル
TEL.03-6284-3722(代) FAX.03-6284-3725

毎日新聞社青少年読書感想文全国コンクール事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館 毎日企画サービス
TEL. 03-6265-6813 FAX. 03-6265-6837
公式ホームページ https://www.dokusyokansoubun.jp

第71回青少年読書感想文全国コンクール応募要項(抜粋)

対象図書

○課題読書

主催者の指定した図書(課題図書)。
同一部内における学年指定はありません。

○自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

*教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌(別冊付録を含む)、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

*点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、点訳・音訳したものの情報を添えてご応募ください。

応募資格および区分

応募者の年齢は満20歳まで(2005年4月2日以降に出生の者)とします。

応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

- ①小学校低学年の部(1、2年生).....課題読書・自由読書
- ②小学校中学年の部(3、4年生).....課題読書・自由読書
- ③小学校高学年の部(5、6年生).....課題読書・自由読書
- ④中学校の部.....課題読書・自由読書
- ⑤高等学校の部.....課題読書・自由読書

*特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。

用紙・字数

①原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

②文字数については下記のとおりです。

- 小学校低学年の部(1、2年生).....本文 800字以内
- 小学校中学年の部(3、4年生).....本文 1,200字以内
- 小学校高学年の部(5、6年生).....本文 1,200字以内
- 中学校の部.....本文 2,000字以内
- 高等学校の部.....本文 2,000字以内

③句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

④題名、学校名、氏名は字数に数えません。

応募作品

①応募は日本語で書かれた作品に限ります。

②応募は課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

③応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。

④盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

⑤入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

応募締め切り

締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクール Web サイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。

作品と氏名等の使用・公表と著作権 ※ご了承のうえ、ご応募ください。

①応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。

②入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物や Web サイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。

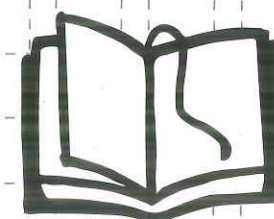
③入賞・入選作品の著作権は、選出と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。

作品提出

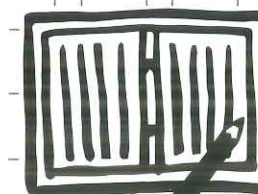
本コンクールは学校を通じてご応募いただくコンクールです。在籍校が本コンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクールに参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。

※詳しい要項は青少年読書感想文全国コンクール Web サイトをご覧ください。

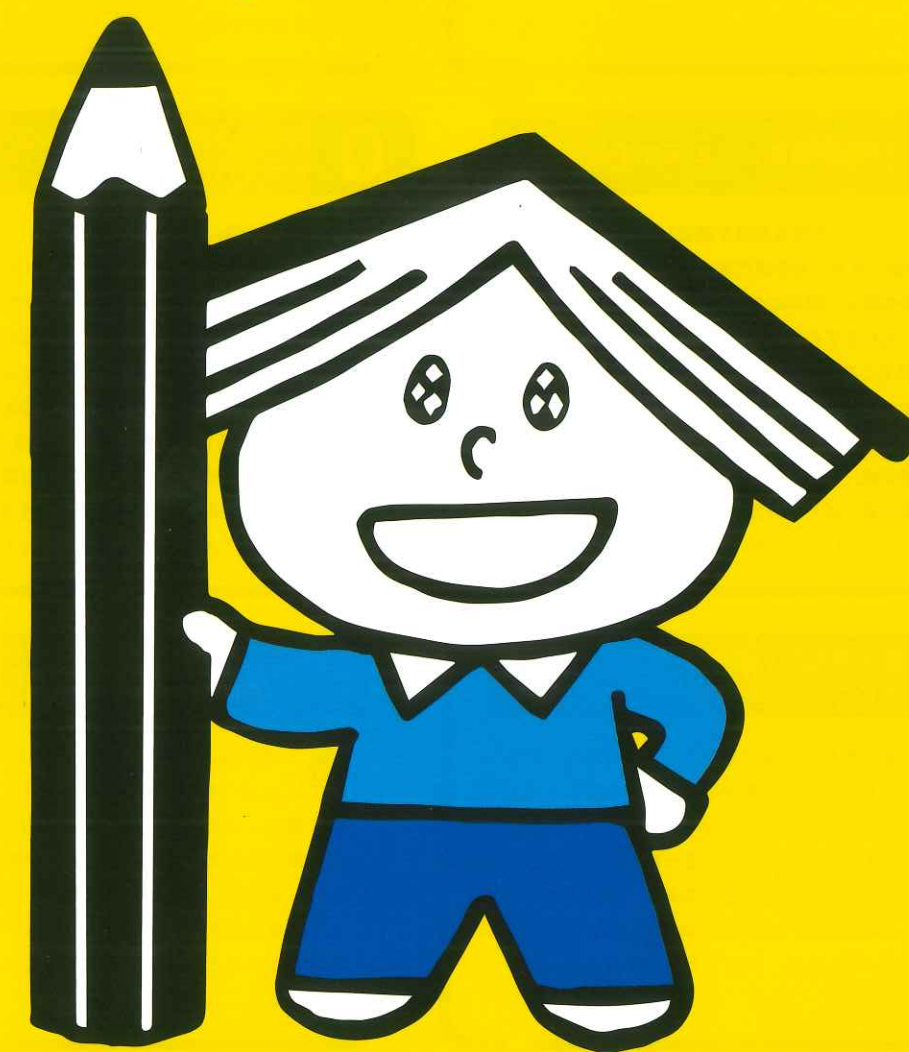
公式ホームページ <https://www.dokushokansoubun.jp>



読書感想文



Q & A



さあ、キミも書いてみよう！

●主催 公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社

●お問い合わせ 青少年読書感想文全国コンクール事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館 毎日企画サービス

TEL 03-6265-6813 (土日祝日を除く平日午前10時～午後5時まで)

<https://www.dokushokansoubun.jp>



読書感想文 Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」
「どんな本を読んだらいいかわからない」
そんな声にお答えします。
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

Q なぜ、本を読むことが大切なのか。

A 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べられることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

A 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみてください。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと本を紹介し合うのもいいですね。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。引用する場合は、一字一句本文と違わないように書いて、必ず「」（カギカッコ）でくくります。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのかわかり、自分が一番言いたいことは何なのかわかりはつきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずです。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つただで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A 本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中にあふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

第71回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

低学年の部

1・2年生



ライオンのかげのネズミ
さかとみ雪 作
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-12-005848-6
〈中央公論新社〉



ぼくのねこポー
岩瀬成子 作
松成真理子 絵
定価 1,430円(本体 1,300円)
ISBN978-4-569-88162-1
〈PHP研究所〉



ともだち
リンダ・サラ 作
ベンジー・デイヴィス 絵
しらすみこ 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-86549-336-8
〈ひさかたチャイルド〉



ワレワレはアマガエル
松橋光文 文・写真
定価 1,870円(本体 1,700円)
ISBN978-4-7520-1099-9
〈アリス館〉

小学年の部

3・4年生



ふみきりペンギン
おくはらゆめ 作・絵
定価 1,430円(本体 1,300円)
ISBN978-4-251-07316-7
〈あかね書房〉



パラクラバ・ボーイ
ジェニー・ロブソン 作
もりうちすみこ 訳
黒須高嶺 絵
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-580-82623-6
〈文研出版〉



たった2℃で…
地球の気温上昇がもたらす環境災害
キム・ファン 文
チョン・ジンギョン 絵
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-494-01256-5
〈童心社〉



ねえねえ、なにを見てる?
ビクター・ベルモント 絵と文
金原瑞人 訳
定価 1,793円(本体 1,630円)
ISBN978-4-309-23155-6
〈河出書房新社〉

高学年の部

5・6年生



ぼくの色、見つけた!
志津栄子 作
末山りん 絵
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-06-535439-1
〈講談社〉



森に帰らなかったカラス
ジーン・ウィリス 作
山崎美紀 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-19-865894-6
〈徳間書店〉



マナティーがいた夏
エヴァン・グリフィス 作
多賀谷正子 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-593-10430-7
〈ほるぷ出版〉



とびたて! みんなのドラゴン
難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険
オザワ部長 著
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-265-08041-0
〈岩崎書店〉

中学校の部



わたしは食べるのが下手
天川栄人 作
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-338-28728-9
〈小峰書店〉



スラムに水は流れない
ヴァルシヤ・バジャージ 著
村上利佳 訳
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-7515-3184-6
〈あすなろ書房〉



鳥居きみ子
家族とフィールドワークを進めた人類学者
竹内紘子 著
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-7743-3386-1
〈くもん出版〉

高等学校の部



銀河の図書室
名取佐和子 著
定価 1,870円(本体 1,700円)
ISBN978-4-408-53859-4
〈実業之日本社〉



夜の日記
ヴィーラ・ヒランダニ 著
山田文 訳
金原瑞人 選
定価 2,420円(本体 2,200円)
ISBN978-4-86793-041-0
〈作品社〉



「コーダ」のぼくが見る世界
聴えない親のもとに生まれて
五十嵐大 著
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-314-01208-9
〈紀伊國屋書店〉